

本日、真岡市で保護されたオオタカ1羽がA型インフルエンザ簡易検査で陽性となりました。

現時点で高病原性鳥インフルエンザと確定した訳ではありませんが、引き続き消毒・野鳥等の侵入防止対策を徹底してください。

鳥インフルエンザウイルスは、渡り鳥を介して汚染された鶏舎周囲の環境から、人または小型の野鳥・野生動物を介して鶏舎内に持ち込まれる危険性が高いです。

以下の予防対策の点検・確認を再度お願いします。

- 1 家きん舎の周囲を巡回し、壁や金網等の一部に、野鳥を含む野生動物が侵入可能な破損がないか確認し、破損箇所は早急に修繕してください。
- 2 農場のすぐ側や近隣に、池や沼等がある場合には、早急に、かつ、定期的に確認等を実施してください。

